

## 編集後記

昭和四十年秋に同志社大学国文学会が結成され、翌四十一年春、「同志社国文学」が創刊されてから二十年余り、号を重ねて三十号に至った。本号では、その軌跡をたどり、いささかの記念とすべく、創刊号から本号までの「分類総目録」を載せることとした。目録の作成にあたっては、長坂成行氏の手になる『青須我波良』既刊一号～三十号分類総目録」に範をとり、本学院生田中正人君の助力を得た。

本誌の刊行は、「一面では会員の研究活動に何らかの貢献をしようとする意味を持つと共に、他面では広くわが国における国文学・国語学・国語教育の研究に対しても、その一翼を担おうとする公的・社会的な意志の表明でもある」といわれた、土橋寛先生の「発刊のことば」を改めて思いおこし、新たなスタートを期したいと思う。

(加美)

### 同志社国文学 第三十号

昭和六十三年三月十五日 印刷

昭和六十三年三月二十日 発行

編集 加美 宏

発行 同志社大学国文学会

(代表) 玉井 敬之

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 京都九一二七三七

印刷所 共同印刷工業株式会社

京都市右京区西院久田町